

“2割になると利用できなくなる”“暮らしと人権守って”の声と、419,540筆の署名が介護保険改悪を押し戻しています

わかりやすく学んで 介護保険改悪をやめさせよう

講師：日下部 雅喜さん

(大阪社会保障推進協議会 介護保険対策委員長)

利用料2割負担と施設多床室室料負担などの改悪は年内結論を目指しています。

「史上最悪の介護保険改定を許さない！」と多くの利用者と家族、働く人びとなどが声を上げ、政府厚労省の介護保険改悪を押し戻しています。

要介護1と2訪問介護、通所介護を総合事業に移行(介護保険から外す)、ケアマネジメントの有料化などの改悪は、今回見送りとなりました。

しかし、利用者負担増を伴う改悪は、他の施策



と一緒に、年内に結論を出す準備をすすめています。

当初計画された改悪を完全に阻止するために、今、何をすべきなのか？一緒に考えてみませんか？

講師 **日下部 雅喜**さん

大阪社会保障推進協議会 介護保険対策委員長
佛光大学社会福祉学部 非常勤講師

開催日時

8月28日(月)

15時30分～17時00分予定

視聴方法

北海道道民医連会場と

Web併用開催 (ZOOM 配信)

ZOOM:ミーティングID: 812 2648 8458

パスワード: 244874

北海道民医連で視聴会場(約50人)を用意します

講師のご紹介

堺市役所で36年間福祉行政に従事したのち、ケアマネジャーとして勤務。大阪社会保障推進協議会介護保険対策委員長として介護制度改革問題に取り組む。

<著書>

- 検証 介護保険施行20年 介護保障は達成できたのか
- 改定介護保険法と自治体の役割—新総合事業と地域包括ケアシステムへの課題 他

介護される人もする人も、みんな笑顔に！北海道連絡会

—略称:介護に笑顔を！道連絡会—

事務局／TEL(011)758-4585 FAX(011)716-3927(北海道民医連内)